

国立大学法人等職員採用試験 説明会用資料

新潟大学工学部工学科
機械システム工学プログラム

機械システム工学プログラムとは

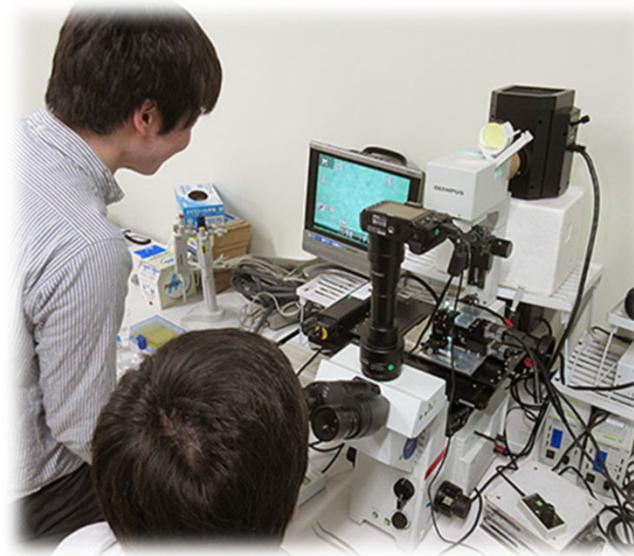
- ・ 機械を「つくる」から「動かす」までの知識を学ぶ
- ・ 講義科目から実技科目まで幅広く実施
- ・ 研究では実験に必要な装置を製作する必要も

1 学年
約90名



プログラムにおける技術職員の支援

- ・ 実験および実習の実技科目を補助「教育支援」
- ・ 研究活動での実験における補助「研究支援」
- ・ 学部行事や技術部業務への取り組み「学部支援」



教育支援について

実習および実験の実技科目の補助

- 機械工作実習
- 機械工学実験
- 設計製図
etc...



機械工作実習

2年生が対象の各種加工法の基礎を習得する科目です。

技術職員は「旋盤加工」「手加工」などの各テーマにおいて学生指導・安全管理を担当しています。



機械工学実験

3年生を対象に講義科目で習得した理論を実験によって再確認し、知識をより深く身につけることを目的とした科目です。

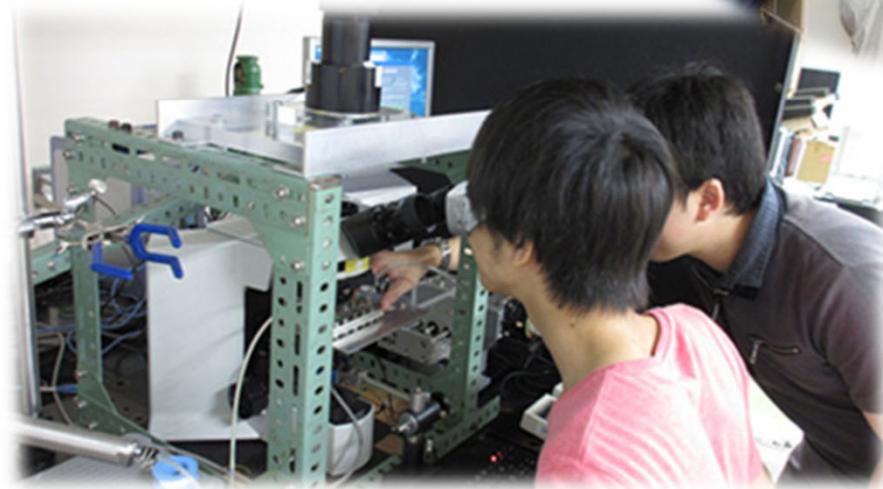
技術職員は各テーマにおいて先生と協働し、学生指導・実験装置の管理を担当しています。



研究支援について

研究活動の補助と実施

- 実験装置の設計、製作、保守管理
- 実験の準備や実施
- 分析機器の操作



実験装置の設計、製作、保守管理

装置の製作等支援は、主に工作機械を使用して依頼を形にしていきます。

時には設計から携わり、より良い装置のために検討します。

学生が工作機械を使用して加工を行う際は、安全に作業を行えるように指導します。



学部支援について

- ・ 学部行事（入学ガイダンス、卒業式、オープンキャンパスなど）
- ・ 試験補助（大学入学共通テスト、学部・大学院入試、学期末定期試験など）
- ・ 技術部業務への取り組み



キャリアパスの例

1
年
目

- ・ 事務職員とともに新入職員研修への参加
- ・ 技術職員研修への参加（他の技術職員の業務内容を知る）
- ・ 教育、研究支援に参画することによる年間の流れの把握
- ・ 実技科目OJTでの工作機械、学生対応の把握

必要知識を研修で身につけてから

2
年
目

- ・ 加工の知識を広げるとともに学生に教えることも経験
- ・ 研究活動を通じて先生、学生への関わり・知識を広げる
- ・ 工作機械の技術の習得および向上

キャリアパスの例

3
|
4
年
目

本人の適性に合わせながら相談してキャリアを進める事ができます

- ・ より高度な専門技術の習得（3Dプリンタ、微細加工など）
- ・ 教育に興味を持ったら、学生活動でものづくりサポート
- ・ 研究に興味を持ったら、教員と協働で学術研究に参加

5
|
6
年
目

- ・ 加工技術におけるマイスター（学生の相談役）に
- ・ ものづくり活動における学生育成を教員と協働で顧問
- ・ 学生実験や実習における教育プログラムの立案に参加

労働環境

●労働時間について

- ・ 所定労働時間 8:30～17:15（7時間45分）
- ・ お昼休み 12:00～13:00（1時間）
- ・ ターム毎、日毎のシフト勤務制度あり

●休日について

- ・ 土/日/祝/年末年始・年次有給休暇
- ・ 特別休暇（産前・産後休暇、夏季休暇、忌引休暇等）